

番ねずみのヤカちゃん

リチャード・ウィルバー 作

大社玲子 絵

松岡享子 訳

福音館書店 1992年 1300円



ドドさんの家にはねずみの一家が住んでいます。4番目の子ねずみは、他のきょうだいと違って、とてつもなく大きな声の持ち主で「やかましやのヤカちゃん」と呼ばれています。その大声で、ねこを撃退し泥棒も追い払います。ヤカちゃんは、「番ねずみ」として、ドドさん夫婦から大事にされるようになります。歌もあり、声に出して読んであげたいお話です。本文にぴったり合った挿絵も楽しめます。

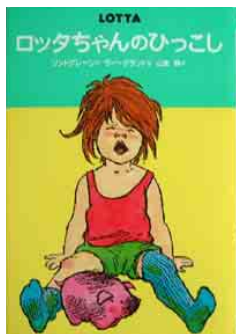
ロッタちゃんのひっこし

アストリッド=リンドグレーン 作

イロン=ヴィークランド 絵

山室静 訳

偕成社 1985年(初版1966年) 1000円



ロッタは、3人兄弟の末っ子で5歳になったばかりです。ある朝、いやな夢をみたロッタはママにあたりちらしたあげく、お隣りの物置にひっこしてしまいます。ロッタは隣りのおばさんにやさしく迎えられ、部屋を自分の気に入るように整えて満足ですが、夜になるとひとりぼっちでさびしくなってしまいます。幼い子のやんちゃぶりと、それをあたたかく見守る大人を描いた幼年向きのおはなしです。シリーズは童話「ちいさいロッタちゃん」の他、絵本が2冊あります。